芸備地方史研究　総目録(2) <100-199号>

広大大学院文学研究科　芸備地方史研究会　発行

100号～　※一部記載していないものがあります。発行年がおかしいところがありますがData通り入力しています。

号数	発行年	価格		著者	論文名
100	1975.2	300	広島県地方史研究文献総目録Ⅱ		
101					
112	1977.5	300	論説	中島忠由	「安芸国新風土記私考」
				菅波堅次	「一里塚散歩」
			資料紹介	角重始	「安芸国新勅旨田関係文書目録」
				土井作治	「文化年代、賀茂郡割庄屋の政治的意見書について」
131	1981.8	600	第27回大会シンポジウム特集		
132				委員会	「高田郡における在地領主制の展開」
				奥山研司	「三田郷藤原氏の領主制」
				角重始	「荘園公領制と領主制」
				秋山伸隆	「毛利氏の国人領主制の展開
			書評	古代史読書会	『広島県史』原始・古代
				北尾泰志・西村晃	『広島県史』近代Ⅰ
				中山富広	有元・頼・甲斐・青野著『明治期地方啓蒙思想家の研究』
133	1981.10	300	論説	櫨井勝	「安芸の律令的収取について－藤原宮出土木簡を通して－」
				下向井龍彦	「警固使藤原純友－承平六年における藤原純友の立場の再検討を通して－」
				今中保子	「『広島県女給同盟』に関する一考察」
134	1981.12	300	論説	西村晃	「幕末芸州藩の対外方針について」
				阪田泰正	「竹原と橋本宋吉」
			書評	小林繁実	『三原市史』民俗編
135	1982.4	600	論説	能島正美	「鎌倉・室町時代における所領相続形態の推移
136					とくに小早川氏いおける女性の所領相続をめぐって-」
				岩田勝	「栃木山城掾と湯頭越後掾－転形期における備後の社人たちの交流－」
				幸田光温	「太田川の舟宿」
				堤正信	「県統計書と近代地域史－安良城盛昭編『名護市史』資料編Ⅰの方法をめぐって－」
			書評	木村久美子・安田晃子	『海田町史』資料編
137	1982.6	300	論説	部真人	「明治中期の広島県における「老農」について
					安芸郡海田市町三宅家を事例として-」
			資料紹介	中山富広	「慶応三年恵蘇郡百姓一揆の史料について」
			書評	中山富広	『庄原市史』・『三次分家済美録』
139	1983.3	300	論説	横出洋二	「梶取の庄園・公領制からの独立に関する
					一考察－伊予国弓削島庄の梶取を例に－」
			資料紹介	六郷寛	「近世後期の安芸国真宗寺院名簿」
			書評	堀田浩之	『船越町史』
140	1983.6	600	論説	宇吹暁	「『被爆体験』の展開－原水爆禁止世界大会の宣言・決議を素材として－」
141				宮尾敬三	「飯田篤老門人野間稲焉」
				岩田年浩	「近世末期における山名家について－鉄山経営を中心に－」
			書評	詫間直樹	『瀬野川町史』
142	1983.6	1000	広島県地方史研究文献総目録Ⅲ(一九七三～一九八一)		
143					
144	1983.9	300	論説	千田武志	「広島県における商権擁護運動」
				河村昭一	「明応期の武田氏と大内氏－年欠九月二十一日付武田元信感状の紹介を兼ねて－
			書評	書評　相良英輔	『広島県史』近代2
145	1983.12	300	論説	一色征忠	「広島藩における文久期の農兵について－佐伯郡を中心として－」
				秋山伸隆	「毛利氏による大仏殿材木供出をめぐって」
146	1984.3	300	論説	村上悦雄	「地方における融和運動の一形態について」
				田口義之	「備後有地氏について」
				藤原一三	「祇園社領備後小童保の変遷」
147	1984.6	600	論説	小西三喜男	「近世後期の農業生産力について－特に地御前・宮内両村を中心にして－」
148				幸田光温	「太田川上流の水運事情(上)－明治末期から昭和初年にかけての水運業人脈地
				谷村賢治	「明治中期における地域小売商業活動の展開－広島県の場合－」
			広島県地方史研究文献目録Ⅲ　補遺・訂正		
149	1984.11	300	論説	幸田光温	「太田川上流の水運事情(下)
					明治末期から昭和初年にかけての水運業人脈地図-」
			広島県地方史の成果と課題Ⅱ(総説・考古)		
152	1985.7	300	論説	鈴木理恵	「近世広島における私塾教育の研究(二)－咸宜園の系譜－
			広島県地方史の成果と課題Ⅱ　中世(その一)		
153	1985.8	300	論説	藤井隆至	「『広島県勧業雑報』の政策思想－十文字勧業課長の所説を中心に－」
			広島県地方史の成果と課題Ⅱ　中世(その二)		
154	1986.3	300	論説	谷村賢治	「明治・大正期における広島県農業成長率の計測(一)」

号数	発行年	価格		著者	論文名
				坂本賞三	「祇園社領安芸国吉田荘の成立について」
			広島県地方史の成果と課題Ⅱ　近世（その一）		
			書評	原田誠司	三次地方史研究会編『三次の歴史』
158	1987.4	300	特集　広島県下における最近の発掘成果をめぐって（その一）		
				委員会	「特集にあたって」
				藤野次史	「広島県下における旧石器時代研究の現状と課題」
				森重彰文	「尾道遺跡の発掘」
			書評	荒木清二	河合正治編『毛利元就のすべて』
159	1987.8	600	論説	谷村賢治	「稲作成長分析－明治期から大正期にかけて－」
160			考古学特集（その二）		
				伊藤実	「広島県における弥生時代遺跡の調査・研究の現状」
161	1987.10	300	論説	高田京子	「近世後期芸北地方における商品輸送機構の変質過程
			考古学特集（その三）		
				河瀬正利	「西ガガラ遺跡」
			書評	佐竹昭	脇坂光彦・小都隆著『日本の古代遺跡26　広島』
162	1987.11	300	論説	石丸紀興	「『広島平和記念都市建設法』の法案とその形成過程に関する考察」
			考古学特集（その四）		
				加藤光臣	「芸備地方における弥生墓制の動態（上）」
163	1988.4	600	論説	丸山昭彦	「芸備における五山禅院領の展開」
164				秋山伸隆	「天文二十三年安芸折敷畑合戦と感状」
			考古学特集（その五）		
				加藤光臣	「芸備地方における弥生墓制の動態（中）
			書評	下向井龍彦　丸子山城跡調査団（団長西本省三）編『倉橋多賀谷氏と丸子山城跡	
165	1988.11	300	論説	久替　治	「米騒動期における廉売施策の推移と小作争議への展開
					芦品郡旧常金丸村を視座として-」
			書評	数野文明・中竹俊博・中村勝則・村上宣昭・和田秀作　『海田町史　通史編』	
166	1989.1	600	小特集　福山の城と城下		
167				青野春水	「寛文の洪水と福山城下の堤防および「江戸新涯」
					「草戸千軒町」のあった場所についての一考察-」
				吉田和隆	「福山城鉄筋門・御湯殿および曲輪の構成について－その通説を見直す－」
				下向井龍彦	「石清水八幡宮寺領安芸国呉保の成立」
168	1989.4	300	論説	横山定	「1718（享保3）年広島藩百姓一揆における打ちこわしについて
			書評	栗林文夫	能島正美著『小早川一門の研究』
				中山富広	瀬戸内海地域史研究会『瀬戸内海地域史研究』第一輯
169	1989.12	600	考古学特集（その六）	加藤光臣	「芸備地方における弥生墓制の動態（下）」
170			書評	長谷川博史　網野善彦（文）・司修（絵）『歴史を旅する絵本　河原にできた中世の町』	
			広島県地方史の成果と課題Ⅱ　近世（その四）		
171	1989.12	300	論説	久替　治	「備後地域における部民制についての一考察」
				藤村耕市	「豪農　林豪一について」
			書評	今正秀	大田英雄『父は沖縄で死んだ－沖縄海軍部隊司令官とその息子の歩いた道－』
172	1990.3	300	考古学特集（その七）	木村信幸	「中世城郭と地域史
				広島県千代田町壬生・今田・有田城跡を例として-」	
			書評	山崎一郎	呉市史編纂室編『呉の歩み』
			講演	藤原与一	「芸備言語史少考」
				岸田裕之	「海の大名能島村上氏と秀吉の『海賊』禁止令」
173	1990.5	300	論説	原田誠司	「福山藩領寛文十一年坪地詰帳の成立時情」
				下向井龍彦	「『古代・中世の呉』年表（稿）」
176	1991.1	300	論説	鈴木理恵	「広島県山県郡における手習塾清高堂の教育（上）」
				落合功	「元禄期における塩浜村落の一考察－富浜塩田を題材にして－」
			書評	濱田敏彦	『瀬戸内海地域史研究』第二輯
177	1991.3	300	論説	桑田俊明	「広島県における古墳研究の現状と課題（上）－1980年代の動向を中心に－
				鈴木理恵	「広島県山県郡における手習塾清高堂の教育（下）」
178	1991.10	300	論説	片岡智	「近世後期芸予諸島における活魚主経営」
				千田武志	「英連邦占領軍の日本進駐－宥和政策の推移を中心として－」
179	1992.1	300	論説	原田誠司	「近世前期の農民家族－備後国安那郡粟根村『家並帳』の分析－
			書評	三澤純	県北の現代史を調べる会編『戦時下広島県高暮ダムにおける
					朝鮮人強制労働の記録』
180	1992.5	300	論説	山崎一郎	「近世山県郡における鑪・鍛冶屋について」
			講演	頼祺一	「朝鮮通信使と文化交流
			書評	小川亜弥子	『瀬戸内海地域史研究』第三輯
185	1993.5	300	論説	岸田裕之	「石見益田氏の海洋領主的性格－永禄十一年の吉田毛利氏への
					出頭関係資料の紹介と解説－」
				立畑春夫	「熊沢蕃山と浅野堤」
186	1993.9	300	小特集 「建国記念の日」ルポの成果と課題		

号数	発行年	価格		著者	論文名
				三沢純	「広島における「建国記念の日」をめぐる諸潮流」
				委員会	「座談会　継続企画『「建国記念の日」のヒロシマ』二十七年を振り返って
187	1993.10	600	講演	藤本清二郎	「今日の文化財保護とまちづくりの課題
188					ー和歌の浦の歴史的景観（名勝・風致）保護を中心にー」
			研究ノート	田口義之	「九鬼城馬屋氏について」
			小特集	広島県の資料館	
190	1994.6	600	特集　創立40周年記念大会		
191			講演	有元正雄	「安芸門徒の人間像」
			パネルディスカッション「地方史研究の活性化をめざしてー地方史研究団体論への提言ー」		
192	1994.9	300	論説	吉田和隆	「江戸時代における備後福山城の変化ー絵図の比較を中心に考察するー」
				藤村耕市	「日彰館中学創立者、奥愛次郎」
193	1995.1	300	論説	原田誠司	「近世前期の『百姓』と『下人』」
				金岡照	「御小人についての一考察」
194	1995.3	300	論説	小栗康治	「中世安芸国東西条の広と阿賀の関係について」
				長谷川博史	「鞆の浦の風景と風情を読むー文学作品に見るその歴史の厚みとと深さー」
195	1995.6	600	小特集　地方史編纂の現状と課題Ⅱ		
196				本多博之	「自治体史の編纂と地域史研究-福岡県の事例紹介をかねてー」
				委員会	「座談会自治体史を読む-八十年代以降の成果-」
			資料紹介	久枝秀夫	「化政期における安芸大朝進藤家の田植記」
197	1995.7	300	小特集　広島県吉田町「郡山城下町遺跡出土木簡」の検討		
				櫨井勝	「郡山城下町遺跡」出土木簡の観察
				佐竹昭	「郡山城下町遺跡」出土木簡をめぐる二つの問題
				宇根俊範	「郡山城下町遺跡出土木簡」の人名について
			書評	長谷川博史	網野善彦・石井進・福田豊彦監修、松下正司編
					『よみがえる中世8埋もれた港町草戸千軒・鞆・尾道』
199	1996.5	300	特集　1995年度大会		
			シンポジウム「自治体史編纂の実状と将来」		
				三澤純	「自治体史編纂をめぐる大会シンポ後の状況
					いわゆる『宮島町史』編纂中止問題を中心として-」